

スズキ、2気筒0.8L ディーゼルエンジンを開発し、インドに投入



スズキ株式会社は、軽量・コンパクトな2気筒0.8Lの小型車向け「E08A型ディーゼルエンジン」を開発した。インド子会社マルチ・スズキ・インド社が生産・販売する小型車「セレリオ」に搭載して、インド国内向けに発売する。

スズキはこれまで他社からの供給やライセンス生産によって1.3~2.0Lのディーゼルエンジンを主に海外向けのモデルに搭載してきたが、インド市場でのディーゼルエンジン仕様車の需要に対応するため2気筒0.8Lの「E08A型ディーゼルエンジン」を自社開発した。

「E08A型ディーゼルエンジン」は、シリンダーブロックの材質にアルミニウムを採用し、コンパクトな2気筒エンジンに適した小型の燃料供給システムとターボチャージャーを搭載することで軽量化を実現した。低圧縮比化と大型インタークーラーの搭載により、低回転域での高トルクと燃費性能を両立した。また、フライホイールを最適化することで2気筒ディーゼルエンジン特有の低周波振動を軽減した。

「セレリオ」への搭載にあたっては、エンジンの取り付け方法や車体剛性の最適化、吸音材の追加等を行いエンジンから伝わる低周波振動や燃焼音を軽減し、快適性を高めた。さらに、このエンジンを搭載した「セレリオ」は、インドでトップ※1の燃費性能となる27.62km/L※2を達成した。

●「E08A型ディーゼルエンジン」の主な諸元

- ・エンジン形式: 2気筒DOHC8バルブ インタークーラーターボ ディーゼルエンジン
- ・排気量: 793cm³
- ・内径×行程(mm): 77.0×85.1
- ・圧縮比: 15.1
- ・最高出力(kW/rpm): 35/3,500
- ・最大トルク(N・m/rpm): 125/2,000

※1 2015年6月現在、スズキ調べ。

※2 Test results of Rule 115 of CMVR, 1989. (インドにおける1989年中央自動車規則115の試験結果)